

29監第14号
平成29年12月4日

南 箕 輪 村 長 様
南 箕 輪 村 教 育 長 様
南 箕 輪 村 議 会 議 長 様

南箕輪村代表監査委員 原 浩

南 箕 輪 村 監 査 委 員 原 悟 郎

平成29年度定期監査結果報告並びに意見書の提出について

地方自治法第199条第4項及び南箕輪村監査委員条例第3条の規定に基づき定期監査を実施したので、地方自治法第199条第9項及び同条第10項の規定によりその結果報告及び意見の提出をします。

I 監査の概要

1 監査の対象

村の財務事務の執行状況及び行政監査に関する基本的事項について、平成 29 年度の上半期（平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで）における事務事業の執行状況について監査を実施した。

2 監査の対象とした課等

総務課、議会事務局、選挙管理委員会、監査事務局、地域づくり推進課、財務課、会計室、住民環境課、健康福祉課、子育て支援課、産業課、農業委員会事務局、建設水道課、教育委員会

3 監査の期間

平成 29 年 10 月 30 日～11 月 20 日

4 監査の内容

財務監査を主に会計経理、事業の経営管理が適正かつ効率的に実施されているか、特に内部統制・経済性が発揮されているかについて、主として下記事項の監査を実施した。なお、あらかじめ監査資料の提出を求め監査した。書類監査のほか事業現場等（別紙）の現状について、実地調査も併せて実施した。

- ① 計画的に予算執行されているか
- ② 工事の実施事務は適正になされているか
- ③ 契約・検収事務は適正になされているか
- ④ 備品の購入事務は適正になされているか
- ⑤ 工事書類が整理されているか。
- ⑥ 各種団体への負担金、補助金の支出事務は適正になされているか
- ⑦ 効率的な事務執行がなされているか。

II 監査の結果

指定した重点項目を主に会計・経理さらには内部統制・経済性、特に

- ① 関係法令に準拠して調整されているか
- ② 財産の管理は適正か
- ③ 財政運営は健全か
- ④ 予算の執行にあつては効率かつ適正に処理されているか

の諸点について検討を行った結果、適正に実施されており、監査した範囲においては、その内容に誤りもないものと認定した。

監査の結果は総体的にみて、各事務事業の執行はそれぞれ適正、かつ効率的に行われており、所期の目的に沿って遂行され概ね良好と認められた。今後も、関係法令、事業要綱等を理解し、細心の注意を払い事務の執行に努められたい。

Ⅲ 監査意見

○総務課

- (1) 休職職員について、だいぶ少なくなってきた。今後もメンタルヘルス診断の結果などを有効活用して新たな長期休職者が出ないように取り組まれない。
- (2) 防犯灯について、虫の死骸や蜘蛛の巣等で汚れていたり、老朽化によりカバーが変色し暗いものが見受けられる。維持管理については各区で行うことになっているが、高所であり清掃作業等もむずかしいと思われる。古くなった灯具の更新も含め、維持管理の体制について検討されたい。

○地域づくり推進課

- (1) 様々な事業の立ち上げに努力されている。ある程度軌道に乗ったら、担当すべき課等への引継ぎを検討されたい。
- (2) ふるさと大使のみなさんは、それぞれ村のために活動してくれる意思を持っている。ふるさと大使のみなさんが活躍できる場の検討をされたい。
- (3) まっくんバスの運行について、福祉移送サービスの充実が進めば、利用者はさらに減少することが予想される。デマンドタクシー等の活用も含め検討されたい。

○子育て支援課

- (1) こども館の運営について、開館し3ヶ月が経過。様々な事業や行事に取り組まれているが、課題も浮き彫りになってきたと思われる。他の部署と関連する事業も多く、相互連携を図りながら業務遂行に取り組まれない。

○健康福祉課

- (1) 懸案となっている障がい者グループホームについて、事業実施者がなく難しい問題ではあるが、そろそろ結論をだすべきではないか。
- (2) なるほどザ地域塾について、目的等がわかりにくい。目指すべき方向性も含め再検討の必要があるのではないか。

○産業課

- (1) 「風の村米だより」、好評のガレットに使用する南箕輪村産そば粉など、需要の割に生産量が少ない。JAやまっくんファームなどと連携し、生産体制の強化に取り組んでほしい。

○建設水道課

- (1) 第2配水池の管理について、事故が起きないように管理方法を見直すとともに、緊急時の対応マニュアル等の整備と対応の共有化について検討されたい。
- (2) 上下水道の使用料等、新たな滞納が発生しないよう鋭意努力されたい。

○教育委員会

- (1) 人材育成を目的とした中学生の海外派遣事業について、補助金の交付は今年度

が最後とのことだが、今後、派遣を希望、検討している生徒の芽をつむことのないよう何らかの助成は必要ではないか。

- (2) 給食センターの増改築について、増改築か新築か、早めに結論を出して、次の段階に進むべきではないか。

○全体的事項

- (1) 交付金事業などにより各課で事業量が増えている。一部の係や担当者に過度の負担がかからないよう体制の整備を行うとともに、理事者、管理職の職員は常に状況を見守るよう心掛けられたい。
- (2) 各課において様々なイベント、行事が行われているが、日程等が重なっているものも見受けられる。調整の場が必要ではないか。
- (3) テレビや新聞等を見ていると、他市町村はマスコミの使い方が上手に感じる。本村でもプレスリリースを行っているが、もう少し積極的にマスコミを活用してもよいのではないか。